



私の街こまつ



遠いは近い
つながる小松

THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS

2025
2.1
NO.216

議会だより

\\ Topic! //

12月議会補正予算

15億2,068万5千円を可決



Contents

12月定例会	2	常任委員会 審査報告	15
市政Q&A		特別委員会 調査報告	17
代表質問・一般質問	3	議会活動報告	18
予算決算常任委員会総括質疑	14	議決結果	20
撮影 小松大谷高等学校写真部 2年生		吉田 来未さん	



市議会HP



マチイロ

12月定例会

会期〈11月25日～12月23日〉

11月25日 閉会

市長提出議案
予算案 4件
条例案 5件
その他議案 7件

12月4日 代表質問 (3人)

一般質問 (3人)

5日 一般質問 (8人)

6日 一般質問 (5人)

12日 予算決算常任委員会総括質疑

13日 各常任委員会 (分科会)

16日 各特別委員会

19日 予算決算常任委員会

23日 閉会

市長提出追加議案 8件

議員提出議案 2件

その他議案 1件

※議案等の採決結果 (P20参照)

予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P15参照)

令和6年度12月補正予算

一般会計 補正額 12億3,994万7千円

特別会計 補正額 1億2,480万円

企業会計 補正額 1億5,593万8千円

合計 補正額 15億2,068万5千円

一般会計の累計

555億8,446万7千円

全会計の累計

1,148億1,060万5千円

本会議の討論

橋本議員から以下の市長提出議案に対し、反対討論がありました。(P20参照)

議案第95号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第6号)

議案第102号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

条例案等をチェック

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。(P16参照)

議員提出議案をチェック

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。(賛否はP20)

議案第11号 災害公営住宅の建設等に対する更なる支援を求める意見書

議案第12号 学校施設における防災対策への更なる支援を求める意見書

人事案件

人権擁護委員

出口 春一 氏 (矢田町)

玄田 朋恵 氏 (今江町)

の推薦に同意しました。



会派自民
はいだ まさのり
灰田 昌典 議員

代表質問 一括質問

宮橋市長の2期目の 出馬に向けて



動画で
チェック

◆決意と抱負は

Q 具体的に示されたい。

A 若い世代の流れを変える新しいまちづくりにウラ日本から挑戦することで、本市を大きく飛躍成長させ、全ての世代が暮らし続けられる「生涯安心の小松」を実現させていく。

◆未来型図書館等複合施設について

Q 本市にとってこれまでにない大きなプロジェクトだと思うが、その予算と財源について。

A 概算事業費は約68億円、省エネ対策を追加実施した場合は約75億円と試算。管理運営費は年間約2億3,000万円。財源は国交省の補助金や地方債の活用を考えている。

Q 市民に支持される施設について。

A 市民や事業者等が参画するリビングラボでは、現在重要なライブラリーテーマ等の検討を進めている。リビングラボは開館後も地域課題の解決等の中心的な機能として位置づけ、市民に親しまれる未来型図書館を皆さんと一緒に作り続けていきたい。

Q 持続可能な施設について。

A 地域資源を結びつけ、価値を生み出しながら、人や文化、情報、活動の好循環を持続的につくっていくことを目指している。

◆熊出没状況と対策について

Q 小松市の約7割が森林であるが、まず熊の出没状況について。

A 今年度11月末現在で89件。

Q 生活圏に出没する熊対策について。

A 侵入防止柵やAI監視カメラの設置、奥山地域での熊の餌となる樹木の植林等。

Q 捕獲、駆除の取組について。

A 捕獲おりや電気柵を設置し、アーバンベアの積極的な捕獲や排除に努めている。

◆小松空港の将来像について

Q 国際空港小松を目指す中、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟の香港・タイ訪問団の成果は。

A 香港では、来年夏ダイヤの運行再開の検討が明らかになり、タイではお互いの地域のPRの必要性が話し合われた。

◆ターミナルビルについて

Q 小松空港中期ビジョン策定検討委員会について、今後の方針は。

A ターミナルビル改築に関し、機能や増築等に係る課題の整理を進めていく予定。

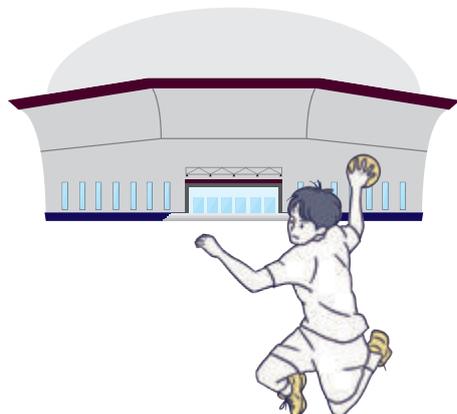
Q 1階国際線側、2階搭乗口の拡張については。

A 検討委員会では国際線ロビーの拡張をはじめ、施設整備に関し様々な意見が交わされている。

◆アリーナ建設構想について

Q 規模は1万席を想定し、ハンドボール以外にも音楽コンサートや各種イベントにも対応可能な利用を見込んでいるとのことであり、また、コンベンション機能を持つホテルやレストランといった空港周辺のにぎわいが期待される。本市として、地方創生の観点から国による手厚い支援が必要と考えるが、市長の見解は。

A 国や県等と連携した取組が必要だと思っている。ただ一方で、民設民営が大前提にあるので、その中で国や県含めてこういった形で支援できるのかを協議していきたい。





小松志士の会
みやにし けんきち
宮西 健吉 議員

代表質問 一括質問

来年度の予算編成に向けて



動画で
チェック

◆来年度の予算編成に向けて

Q 103万円、106万円、130万円の壁について市長の見解は。

A 壁が撤廃されれば、税収減は発生するものの、経済対策としての減税政策が結果として経済発展につながり、その果実として税収増を導き出すことを期待している。

Q 子育て支援、経済の好循環を目指す本市にとってエンゲル係数が必要であると思うが見解は。

A 物価高による国民の生活対策は、本来、国が政策立案・実施すべきものとする。本市では、物価高対策のみならず複合的な政策を立案・展開し、今後もよりよいまちづくりに取り組んでいく。

◆農業問題、米政策について

Q 農業用施設の維持管理について地元（農家）の負担軽減をお願いしたいが見解は。

A 持続可能な地域農業を実現するためにも、生産者や関係団体から意見を聞き、負担軽減が図れるよう、国・県に働きかけていく。

Q 生産調整枠を大豆や麦だけでなく、輸出米にも割り当てすべきである。見解は。

A 農業者の所得向上につながるよう、これまで以上に市、JA、農業者が三位一体となり、本市の農業を持続可能なものになるよう取り組んでいく。

◆ふるさと納税寄附額10億円の目標について

Q 来年4月に市長直轄ポストとして最高マーケティング責任者（CMO）1人を年収1,000万円以上で任用し、任期は3年とのことだが、10億円達成できるのか。

A 新しく就任されるCMOには、新しい目線で小松の魅力を見定め、ふるさと納税で勝てるマーケットづくりをしていただき、寄附額10億円を目指していく。

◆末広陸上競技場について

Q 昭和31年開設以来、第2種公認の陸上競技場が能登半島地震の影響で、公認の競技場として大会が開けなくなっている。企業版ふるさと納税を活用してはどうか。

A 部分的な復旧工事でも第2種公認が継続できる可能性が出てきた。最終的な公認継続の可否及び継続に必要な追加工事費用が分かるのは、2月頃になる見込み。



末広陸上競技場

Q 2023年の小中学生の不登校は34万人を超えたとある。教員の世代交代による力量低下や教員不足が影響しているのではないかと。

A 知識や経験の豊富な退職職員であるSSWによる学校訪問や研修の機会を通じて、指導力の向上に努め、組織的に対応するよう指導している。

Q 中学校の部活動について、地域移行のメリット・デメリットは。

A メリットは生徒が取り組みたいスポーツの種目が増えること。デメリットは様々な制度構築上の課題があり、指導者や練習場所の確保など、解決に向けた調整が必要である。

